

平成 23 年 5 月 10 日(火)

新川流域総合治水対策協議会事務局

愛知県建設部 河川課 計画グループ

永田・飯島(内線 2729・2730)

ダイヤルイン 052-954-6555

愛知県建設部 下水道課 公共下水道グループ

西谷・尾島(内線 2687・2684)

ダイヤルイン 052-954-6533

## 第 28 回新川流域総合治水対策協議会の結果報告について

平成 23 年 5 月 10 日に開催された、新川流域総合治水対策協議会（名古屋市始め 11 市 4 町及び国・県にて構成）において、以下の項目を協議・確認し、今後も引き続き、積極的に総合治水対策を実施していくことを合意しましたので、お知らせします。

### 1. 流域水害対策計画による取り組み

新川流域では、特定都市河川浸水被害対策法に基づく特定都市河川流域等に指定(H18. 1. 1)し、同法に基づく流域水害対策計画を県と市町が共同で策定・公表(H19. 10. 30)し、治水対策に取り組んでいるところです。この計画に基づいた河川や下水道整備の進捗状況、浸水被害拡大防止対策の状況についてモニタリングを実施し、その結果を公表します。(P2～7参照)

### 2. 500 m<sup>2</sup>未満の雨水浸透阻害行為及び未対策開発地に対する雨水流出抑制施設設置の推進について

特定都市河川浸水被害対策法第 9 条の政令で定める規模未満（500 m<sup>2</sup>未満）の雨水浸透阻害行為についての対策として、また未対策開発地での対策として、雨水流出抑制施設（雨水貯留・雨水浸透）の設置を積極的に普及していくため、新川流域総合治水対策協議会で P R 等行っていくこととしました。(P8 参照)

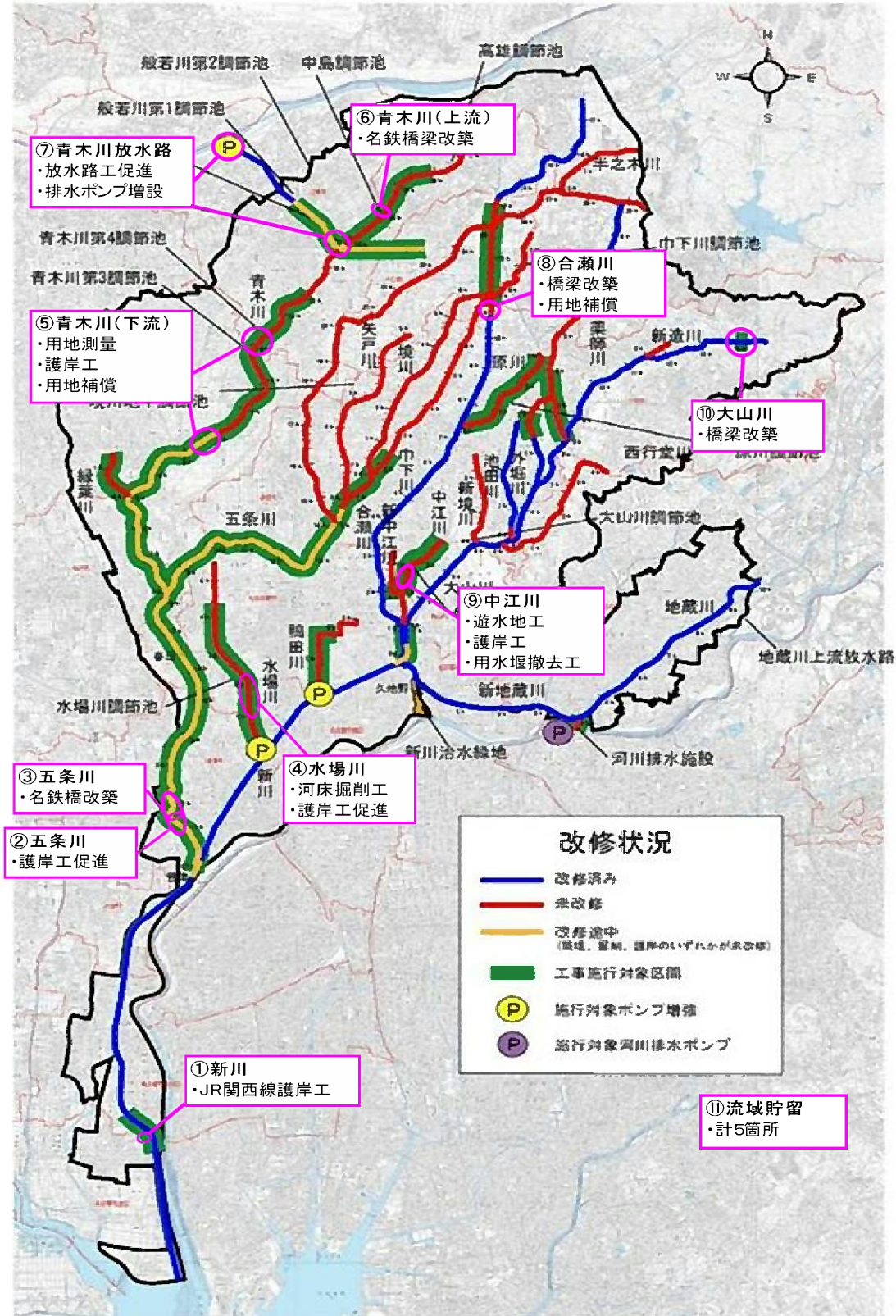
### 3. 総合治水 P R 活動の実施について

新川流域が一体となって取り組んでいる総合治水対策について、地域の皆様により一層理解していただけるよう「新川親子流域フォーラム」などを開催することとしました。(P9 参照)

流域水害対策計画によるモニタリング結果

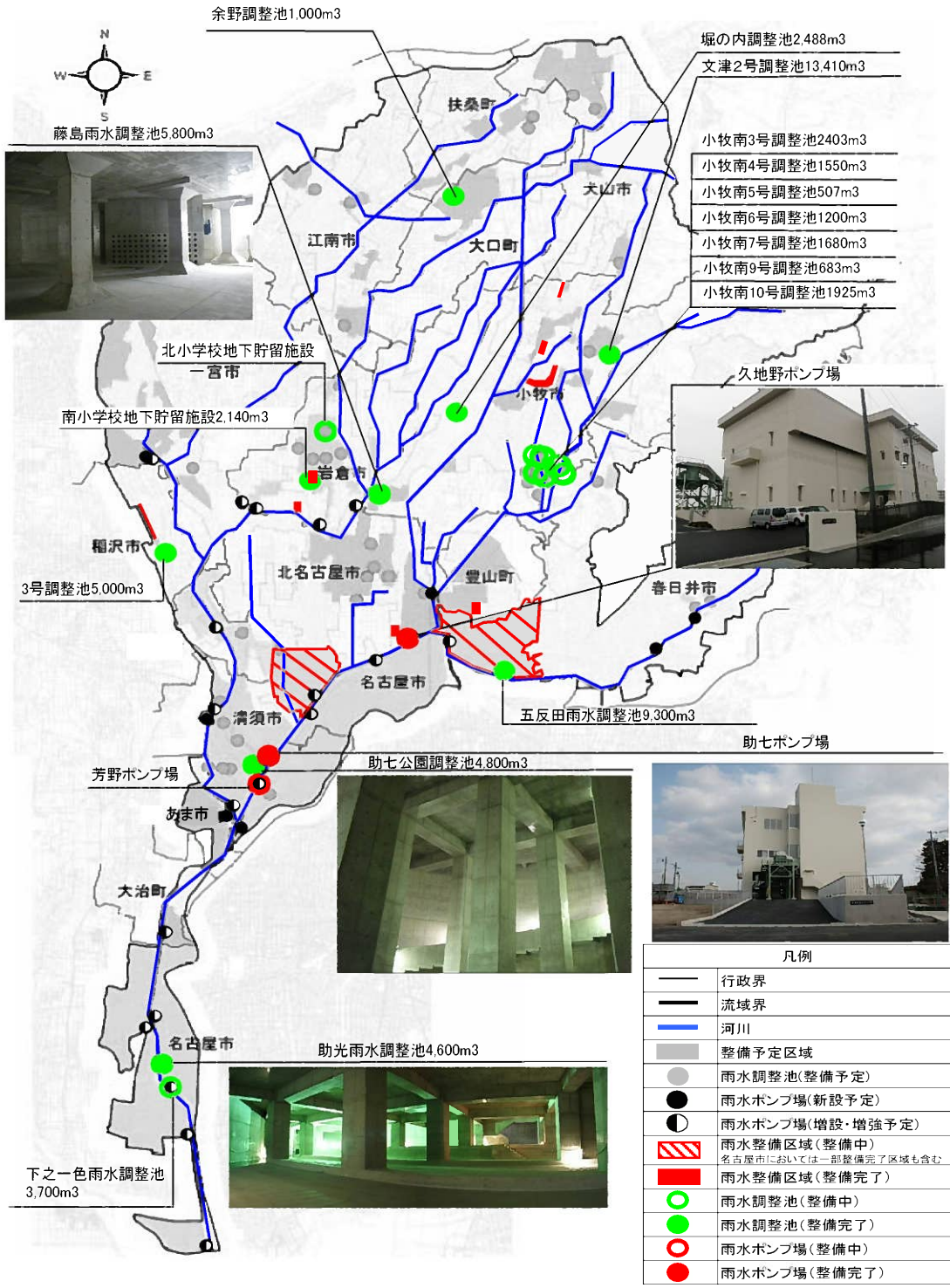
■整備の進捗状況

◇河川事業の整備状況(H23年度)



# ◇下水道事業の整備状況

下水道事業の整備状況(H23年度)



## ◇特定都市下水道の整備状況※1

	雨水整備区域※2				下水道雨水調整池※3				下水道雨水ポンプ場※3			
	整備 予定面積 (ha)	H22年度 整備面積 (ha)	H22年度末 整備面積 (ha)	整備 進捗率 (%)	整備 予定容量 (千m3)	H22年度 整備容量 (千m3)	H22年度末 整備容量 (千m3)	整備 進捗率 (%)	整備予定 排水能力 (m3/s)	H22年度 整備排水能力 (m3/s)	H22年度末 整備排水能力 (m3/s)	整備 進捗率 (%)
	A1	-	B1	B1/A1	A2	-	B2	B2/A2	A3	-	B3	B3/A3
名古屋市	2149	308	308	14.3%	18	0	13.9	77.2%	77	0	0	0.0%
一宮市	406	0	0	0.0%	2	0	0	0.0%	10	0	0	0.0%
春日井市	57	0	0	0.0%	14	0	0	0.0%	1	0	0	0.0%
犬山市	291	0	0	0.0%	13	0	0	0.0%	-	-	-	-
江南市	166	0	0	0.0%	15	0	0	0.0%	-	-	-	-
小牧市	368	0	24	6.5%	55	0	31.6	57.5%	-	-	-	-
稲沢市	20	0	19	95.0%	5	0	5	100.0%	-	-	-	-
岩倉市	274	0	27	9.9%	17	0	2.1	12.4%	13	0	0	0.0%
清須市(旧春日町含む)	1075	0	0	0.0%	27	0	4.8	17.8%	35	0	6.4	18.3%
北名古屋市	469	3	6	1.3%	33	0	0	0.0%	10	0	4.36	43.6%
あま市(旧基目寺町)	165	0	0	0.0%	-	-	-	-	3	0	0	0.0%
豊山町	213	0	15	7.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
大口町	213	0	0	0.0%	1	0	1	100.0%	-	-	-	-
扶桑町	118	0	0	0.0%	1	0	0	0.0%	-	-	-	-
大治町	48	0	0	0.0%	-	-	-	-	3	0	0	0.0%
	6032	311	399	6.6%	202	0	58.4	28.9%	152	0	10.76	7.1%

※1「雨水整備区域」、「下水道雨水調整池」、「下水道雨水ポンプ場」の各整備予定量は、流域水害対策計画に定めた年度から概ね30年間の整備予定量です。

※2雨水整備区域の「整備面積」は、下水道(公共下水道や都市下水道)や市町が管理する法定外水路及び農業用排水路などの改修や増強、雨水調整池の整備を「下水道事業」で行うことにより、都市浸水に対する安全度を向上させた区域面積を示します。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、雨水調整池や雨水ポンプ場など流末の整備状況により異なります。

※3下水道雨水調整池の「整備容量」及び下水道雨水ポンプ場の「整備排水能力」は施設それ自体の整備量を表しています。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、施設が受け持つ区域内の管路の整備状況により異なります。

## ■雨水貯留浸透施設の整備状況

### ◇地方公共団体等が実施した雨水貯留浸透対策の位置及び容量

	計画容量 (m3) A	貯留施設実績				浸透施設実績				進捗率 (容量ベース) D/A		
		計画策定(H19) からH21年度迄 対策実施容量 B		前年度(H22) H19~総対策量 合計 D=B+C		透水性舗装(m2)		透水トレンチ(m)			浸透樹(個)	
		前年度(H22) 対策実施容量 C	H19~総対策量 合計 D=B+C	H22年度 整備面積	H22年度末 整備面積	H22年度 整備延長	H22年度末 整備延長	H22年度 整備数	H22年度末 整備数			
合計	236,300	72,878	3,416	76,294	5,343	28,759	0	47	13	216	32.3%	
名古屋市	15,000	2,933	0	2,933	0	0	0	0	0	0	19.6%	
一宮市	71,000	9,486	1,010	10,496	995	11,139	0	0	2	179	14.8%	
春日井市	46,300	26,257	1,310	27,567	257	2,220	0	0	0	0	59.5%	
犬山市	0	100	0	100	0	630	0	0	0	15	-	
江南市	1,400	1,400	0	1,400	0	0	0	0	0	0	100.0%	
小牧市	19,500	5,824	259	6,083	3,924	11,347	0	0	0	0	31.2%	
稲沢市	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
岩倉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
清須市(旧春日町含む)	19,200	11,630	0	11,630	0	0	0	0	0	0	60.6%	
北名古屋市	40,000	9,689	57	9,746	167	2,582	0	0	11	22	24.4%	
あま市(旧基目寺町)	200	163	0	163	0	0	0	0	0	0	81.5%	
豊山町	2,200	2,200	0	2,200	0	0	0	0	0	0	100.0%	
大口町	5,000	1,600	0	1,600	0	0	0	0	0	0	32.0%	
扶桑町	13,500	1,596	780	2,376	841	47	47	0	0	0	17.6%	
大治町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

#### 流域全体での進捗率

計画容量(m <sup>3</sup> )	H22年度迄の実施量(m <sup>3</sup> )	進捗率(容量ベース)
236,300	76,294	32.3%

◇雨水浸透阻害行為の対策工事の中で設置された雨水貯留浸透施設の位置及び容量

	平成22年度					平成18年1月1日～平成23年3月31日までの累計				
	許可件数 (9条・14条)	対策施設				許可件数 (9条・14条)	対策施設			
	件数	貯留 ( $m^3$ )	透水性 舗装 ( $m^2$ )	浸透 トレンチ ( $m$ )	浸透樹 (個)	件数	貯留 ( $m^3$ )	透水性 舗装 ( $m^2$ )	浸透 トレンチ ( $m$ )	浸透樹 (個)
名古屋市	15	163	3,545	65	38	118	1,304	27,101	2,212	239
一宮市	20	1,012	18,179	492	20	134	4,020	83,742	1,531	136
春日井市	4	52	2,677	61	12	63	14,840	61,408	1,099	106
犬山市	14	218	7,100	784	67	74	2,227	38,716	1,837	206
江南市	11	235	5,608	268	56	95	2,324	52,723	1,369	331
小牧市	37	1,073	10,288	773	20	273	22,260	122,207	1,978	258
稲沢市	3	55	2,100	0	0	23	458	13,827	270	53
岩倉市	5	59	4,024	20	4	61	4,855	28,661	718	128
清須市	6	128	2,885	26	4	64	1,917	17,629	505	108
北名古屋市	31	680	11,226	145	129	180	6,427	52,379	1,341	414
豊山町	13	95	4,864	0	0	67	1,396	26,384	607	118
大口町	4	275	286	42	0	82	7,601	48,996	1,207	145
扶桑町	6	137	2,503	40	0	60	1,356	28,031	876	91
あま市	1	24	0	0	0	12	244	2,074	150	50
大治町	0	0	0	0	0	3	53	650	149	0
合計	170	4,206	75,285	2,716	350	1,309	71,282	604,528	15,849	2,383

◆雨水浸透阻害行為面積別件数及び面積(9条・14条)

雨水浸透阻害行為面積	H17年度		H18年度		H19年度		H20年度		H21年度		H22年度		合計	
	許可件数	合計面積 ( $m^2$ )	許可件数	合計面積 ( $m^2$ )	許可件数	合計面積 ( $m^2$ )	許可件数	合計面積 ( $m^2$ )	許可件数	合計面積 ( $m^2$ )	許可件数	合計面積 ( $m^2$ )	許可件数	合計面積 ( $m^2$ )
500 $m^2$ ～1,000 $m^2$ 未満	31	23,160	152	112,005	180	136,080	186	136,776	107	80,006	109	82,060	765	570,087
1,000 $m^2$ 以上	19	59,169	135	339,523	146	492,001	124	345,852	59	214,308	61	124,110	544	1,574,963
合計	50	82,329	287	451,528	326	628,081	310	482,628	166	294,314	170	206,170	1,309	2,145,050

◆許可件数内訳(9条・14条及び16条(変更))

9条	14条	小計	16条
1278	31	1309	381

※許可件数、対策施設及び阻害行為面積については、平成23年3月31日現在における集計値を示しており、法第16条、第18条に基づく変更ならびに廃止があった場合は、変更後の値としております。

◇地方公共団体の条例・要綱に基づく指導により設置された雨水貯留浸透施設の位置及び容量

	前年度(平成22年度)実績			
	貯留施設 (m <sup>3</sup> )	浸透施設		
		透水性舗装 (m <sup>2</sup> )	透水トレンチ (m)	浸透枡 (個)
合計	2,543	22,238	465	497
名古屋市	0	1,281	0	7
一宮市	0	0	0	0
春日井市	942	5,459	143	40
犬山市	0	0	0	0
江南市	0	7,049	73	431
小牧市	0	1,106	0	0
稲沢市	0	0	0	0
岩倉市	0	0	0	0
清須市(春日町含む)	1,510	0	0	1
北名古屋市	66	2,865	0	0
あま市(旧甚目寺町)	0	0	0	0
豊山町	0	0	0	0
大口町	0	0	0	0
扶桑町	25	4,478	249	18
大治町	0	0	0	0

※名古屋市については平成21年度実績を記入。合計欄については名古屋市(平成21年度実績)、他市町(平成22年度実績)となっていることに注意。

■排水調整の実施状況

平成22年度には、排水調整は実施されなかった。

## ■ 浸水被害拡大防止対策の状況

### ◇ 都市洪水及び都市浸水想定区域図、浸水想定区域の指定状況

種別	作成主体	作成根拠法令	河川名	市町名	状況	備考			
浸水想定区域図	愛知県	水防法第14条	新川	-	平成14年5月公表済み	特定都市河川に平成18年1月1日指定(特定都市河川浸水被害対策法第3条)	洪水干渉河川指定(水防法第11条第1項)		
				-	平成20年6月公表済み				
			五条川	青木川合流点より下流	-			平成20年6月公表済み	水位周知河川指定(水防法第13条第2項)
				青木川合流点から待合橋	-			平成21年6月公表済み	水位周知河川指定(水防法第13条第2項)
			青木川	-	平成21年6月公表済み			水位周知河川指定(水防法第13条第2項)	
			大山川	-	平成21年6月公表済み			水位周知河川指定(水防法第13条第2項)	
都市洪水想定区域図	特定都市河川浸水被害対策法第32条第1項	合瀬川	-	都市洪水想定区域なし					
都市浸水想定区域図	各市町	特定都市河川浸水被害対策法第32条第2項	-	新地藏川	-	平成20年6月公表済み	特定都市河川流域に平成18年1月1日指定(特定都市河川浸水被害対策法第3条)		
				名古屋市	平成20年6月公表済み				
				一宮市	平成20年6月公表済み				
				春日井市	平成20年6月公表済み				
				犬山市	平成20年6月公表済み				
				江南市	平成20年6月公表済み				
				小牧市	平成20年6月公表済み				
				稲沢市	平成20年6月公表済み				
				岩倉市	平成20年6月公表済み				
				清須市	平成20年6月公表済み				
				(旧春日町)	平成20年6月公表済み				
				北名古屋市	平成20年6月公表済み				
				あま市(旧甚目寺町)	平成20年6月公表済み				
				豊山町	平成20年6月公表済み				
				大口町	平成20年6月公表済み				
				扶桑町	平成20年6月公表済み				
大治町	平成20年6月公表済み								

### ◇ 洪水ハザードマップ作成状況

市町村名	現在公表しているハザードマップ内容						
	当初公表年月	最新版公表年月	広報誌など印刷物		ホームページ		
			広報誌など印刷物での公表の有無	公表年月	ホームページでの公表の有無	公表年月	国土交通省とのリンク状況
名古屋市	H14.7	H22.6	有	平成22年6月	有	平成22年6月	有
一宮市	H19.7	H19.7	有	平成19年9月	有	平成19年7月	有
春日井市	H14.12	H22.5	有	平成22年5月	有	平成22年5月	今後手続き予定
犬山市	H14.5	H20.2	-	-	-	-	-
江南市	H13.6	H13.6	-	-	-	-	-
小牧市	H16.3	H16.3	有	平成16年3月	有	平成16年3月	有
稲沢市	H21.4	H21.4	有	平成21年4月	有	平成21年4月	有
岩倉市	H13.3	H23.4	有	平成23年4月	有	平成23年4月	今後手続き予定
清須市	H20.9	H20.9	有	平成20年9月	有	平成20年9月	有
(旧春日町)	H21.1		有	平成21年1月	有	平成21年10月	有
北名古屋市	H21.4	H21.4	有	旧館原町(平成14年8月) 旧西館原町(平成14年11月)	有	平成21年4月	有
あま市(旧甚目寺町)	H17.3	H17.3	有	平成17年3月	有	平成17年3月	今後手続き予定
豊山町	H15.8	H15.8	有	平成15年8月	有	平成15年9月	有
大口町	H15.9	H15.9	有	平成15年9月	有	平成15年10月	有
扶桑町	H23.3	H23.3	有	平成23年3月	有	平成23年5月	-
大治町	H15.3	H22.4	有	平成22年4月	有	平成22年4月	有

# 新川流域での雨水流出抑制施設設置の推進について

新川流域においては、総合治水対策を継続して、あらゆるメニューを活用して水害対策に取り組む必要があります。市民の皆さん一人ひとりがご協力いただくことで、流域全体では大きな治水対策の力になります。

また、雨水流出抑制施設（雨水貯留・雨水浸透）の設置は、節水にもつながり、浸透を推進することで地下水の涵養にもつながるなど、環境の保全への貢献からも、積極的にご協力をお願いします。



## 新たに住宅を建てられる方へ

500m<sup>2</sup>以上の開発をされる方は、別途許可が必要です。

500m<sup>2</sup>未満の方でも、浸透マスなどの設置をお願いします。

新たに住宅を建築したり、駐車場整備をされる場合に、浸透性舗装、浸透マス、浸透トレンチなどの整備にご協力ください。

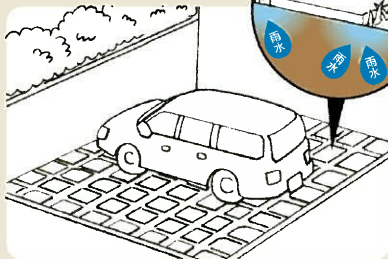
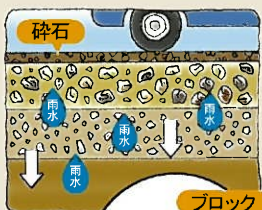


### 雨水貯留槽

屋根に降った雨水をタンクに貯めて、散水等に利用できるようにします。

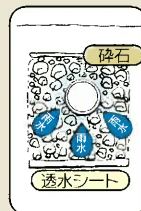
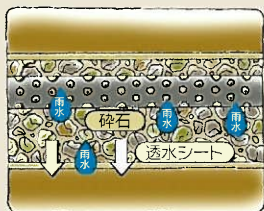
できるだけ舗装しない

舗装する場合は、雨水が浸透する舗装で行なう。



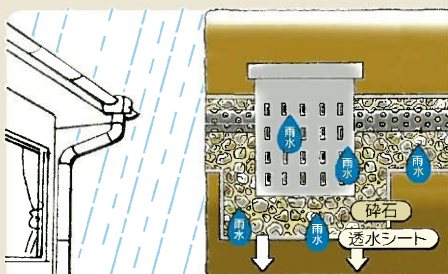
### 浸透トレンチ

屋根に降った雨水を地下に浸透させます。



### 浄化槽を転用した貯留槽

下水道への接続により不要となった浄化槽をタンクに改造して、貯まった雨水を散水等に利用します。



### 浸透ます

屋根に降った雨水を地下に浸透させます。



### 流出抑制

大雨の時は、お風呂や洗濯の水など河川の水を増やす生活排水はできるだけ控え、雨がやんでから流すようにしましょう。



## 流域内にお住まいのみなさまへ

対策を行っていない場合には、ご協力をお願いします。

既存の宅地などで、下水道整備により不要となった浄化槽を貯留施設として転用したり、浸透マス、浸透トレンチなどの整備にご協力ください。



## 平成23年度の総合治水PR活動について

総合治水対策の意義・重要性に対する流域住民の理解と協力を得るため「総合治水推進週間（5月15日～21日）」が平成3年度に制定されました。新川・境川流域総合治水対策協議会ではその趣旨を受け、総合治水推進週間前後に総合治水対策のPR活動をそれぞれ実施しています。

### ○平成23年度のPR活動

#### 親子流域フォーラム

流域内の親子（小学校高学年）にさまざまな治水施設を見学してもらうことにより、総合治水対策の意義と重要性を理解してもらいます。

境川:5月15日(日) アラタ公園地下貯留池、森岡排水機場 他

新川:5月22日(日) 青木川放水路、青木川排水機場 他

（新川流域で公募による40組80名の親子が参加予定。当日は大型バスで回ります）

※ 応募は締め切らせていただいております。



#### ビジュアルボード（パネル）フェア

5月8日から9月16日までの1週間づつ、流域内各市町・建設事務所において、総合治水をPRする内容のパネルを持ち回りで展示します。（県庁地下通路は5/14～19に展示）

また、総合治水推進週間内には関係機関の各庁舎に懸垂幕等を掲出して週間をPRしています。（県庁正面玄関には横看板を5/14～19まで掲示）



#### ホームページによるPR

協議会にてホームページを作成し、県や各市町、民間で行われている総合治水対策を紹介するなど、住民等に向けて情報を発信しています。

<http://www.sougo-chisui.jp/>

（注：写真はH22実施状況）